

I 調査の概要

【調査目的】

瀬戸内市がめざす30年後のまちの姿を、現在市民の皆様がどの程度実感し、あわせて、どのようなまちの姿を重要視しているかについて把握するとともに、平成23年度を初年度とする第2次総合計画の数値目標に対する現状値を把握するために実施しました。

【調査対象】

満18歳以上の市民 2,000人

【抽出方法】

住民基本台帳から無作為抽出

【調査方法】

郵送配布、郵送回収

【調査期間】

平成26年5月

【回収結果】

配布数 ----- 2,000件

有効回収数 ----- 861件

有効回収率 ----- 43.1%

居住地域の内訳（上段：件数、下段：構成比%）

回収数	牛窓地域				長船地域			
		牛窓	鹿忍	長浜		美和	国府	行幸
861	167	80	63	24	260	26	83	151
100.0	19.4	9.3	7.3	2.8	30.2	3.0	9.6	17.5

邑久地域									無回答 (注)
	邑久	福田	今城	豊原	本庄	笠加	玉津	裳掛	
422	169	51	50	37	38	16	19	42	12
49.0	19.6	5.9	5.8	4.3	4.4	1.9	2.2	4.9	1.4

(注) 無回答には「わからない」を含む

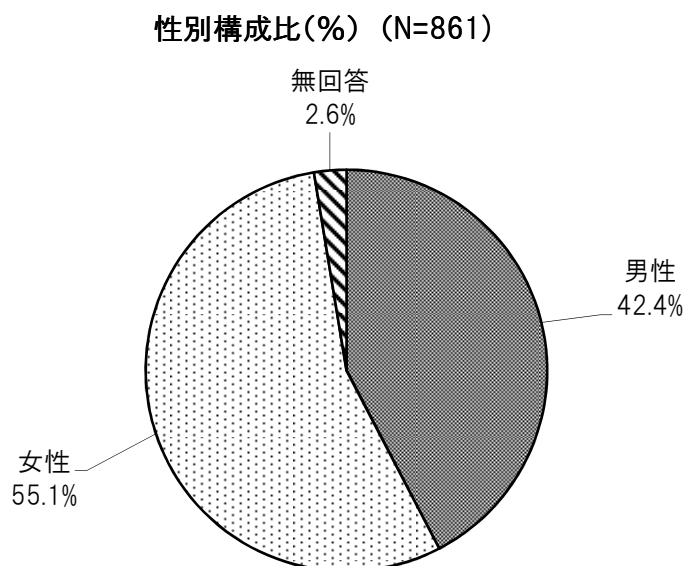
【報告書の見方について】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入しています。従って、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- (2) 2つ以上の回答を可能（複数回答）とした質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合があります。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）です。全標本数ベースを示す「全体」を「N」、該当数ベースを「n」で標記しています。
- (4) 図表中における年齢別などの属性や、他の質問とのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答（例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者）を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合があります。
- (5) 図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は図中標記から省略している場合があります。
- (6) 複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合があります。
- (7) 各設問について、平成24年度に実施した同調査（「前回調査」と標記）との比較が可能な設問においては、比較を行っています。
- (8) この他、個別の参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載しました。

Ⅱ 回答者の属性

1. 性別

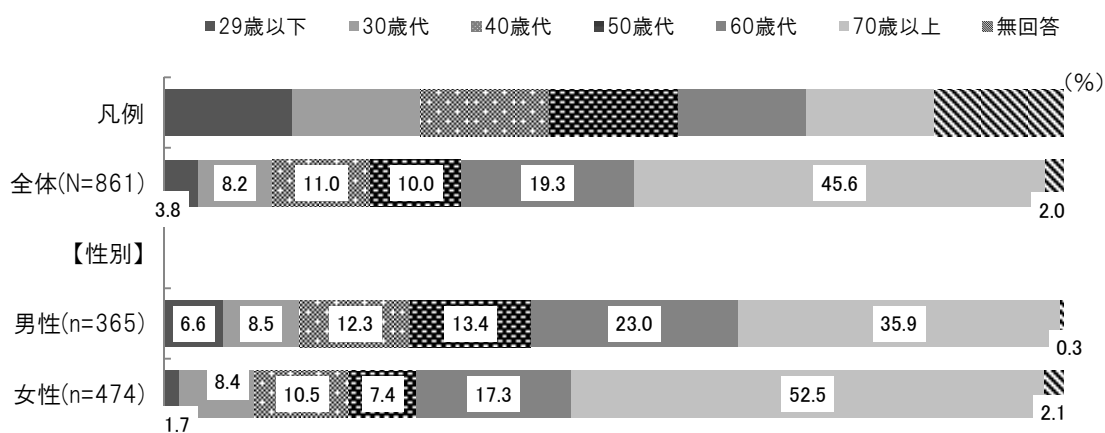
回答者の性別は、「男性」が42.4%、「女性」が55.1%の内訳である。



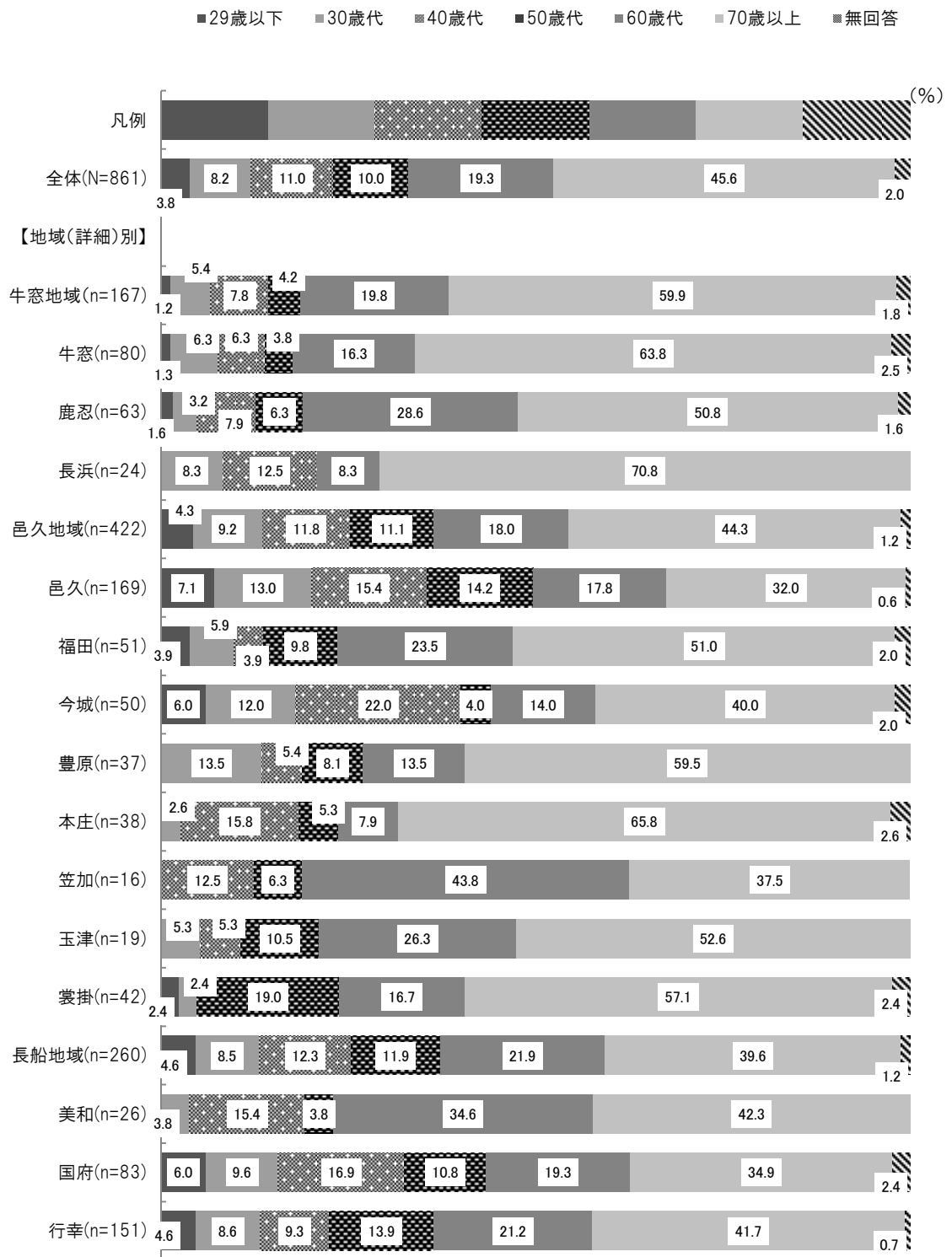
2. 年齢

年齢は「70歳以上」が45.6%と最も多く、次いで「60歳代」(19.3%)が続いている。以下「40歳代」(11.0%)、「50歳代」(10.0%)の順で、「50歳以上(合計)」で全体の7割以上(74.9%)を占めている。

性別別にみると、男性は女性に比べ「29歳以下」、「40～60歳代(合計)」の割合が高く、女性は「70歳以上」の割合が高くなっている。



さらに、年齢別構成を地域（詳細）別でみると「牛窓」、「長浜」及び「本庄」などで70歳以上の方が多く、特に「長浜」では顕著である。一方、「邑久」、「今城」、「国府」及び「行幸」などでは相対的に若い年齢層が多くみられ、地域差が顕著である。

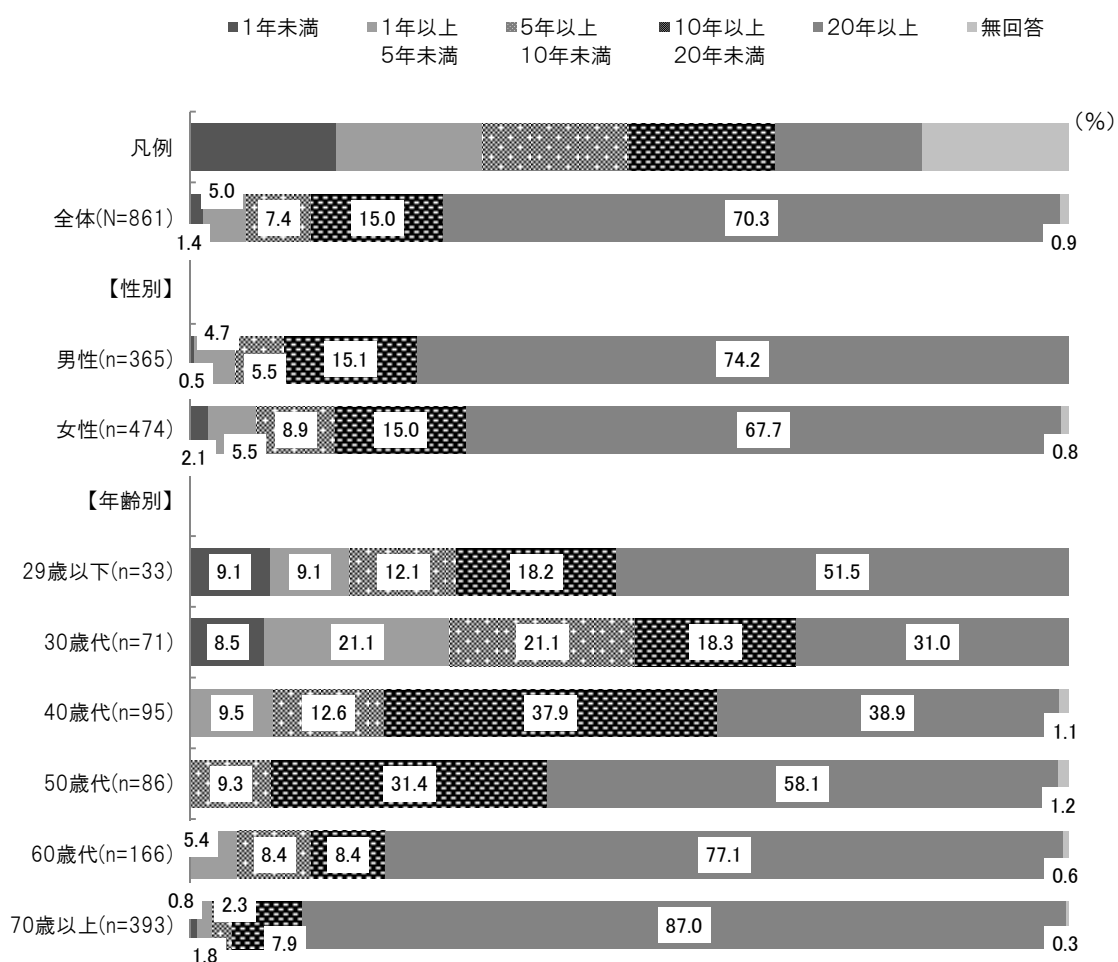


3. 居住年数

居住年数は、「20年以上」が全体のほぼ7割を占め最も多く、次いで「10年以上20年未満」が15.0%となっている。

性別では、女性に比べて男性の居住年数が長くなっている。

年齢別では、30歳代以下では他の年代に比べて「1年未満」が多くなっており、40歳代～50歳代では、「10年以上20年未満」が多くなっており、60歳代以上では、「20年以上」が大多数を占めている。また、29歳以下を除いて、年齢層が高くなるにつれて「20年以上」の占める割合が大きくなっている。

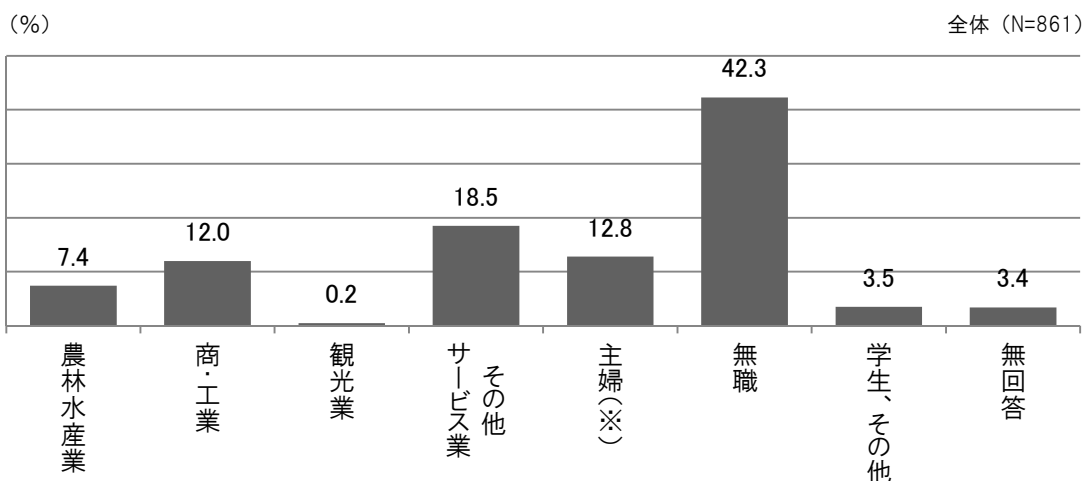


4. 職業

職業は、全体では「無職」が4割(42.3%)を占め最も多く、以下「その他サービス業」(18.5%)、「主婦(パートタイム含む)」(12.8%)、「商・工業」(12.0%)の順となっている。

性別では、共に「無職」が最も多く(男性 35.1%、女性 47.3%)以下、男性では「その他サービス業」(23.3%)、女性では「主婦(パートタイム含む)」(23.0%)と続いている。

年齢別では、60歳以上では、「無職」が多く、29歳以下では他の年齢層に比べて「学生、その他」が多くなっている。



※パートタイムを含む

単位 (%)		農林水産業	商・工業	観光業	サービス業 その他 (パートタイムを含む)	主婦	無職	学生、その他
全体 (N=861)		7.4	12.0	0.2	18.5	12.8	42.3	3.5
性別	男性(n=365)	12.6	23.0	0.3	23.3	0.0	35.1	4.9
	女性(n=474)	3.8	3.6	0.2	15.2	23.0	47.3	2.5
年齢別	29歳以下 (n=33)	3.0	33.3	0.0	27.3	9.1	0.0	27.3
	30歳代(n=71)	1.4	21.1	1.4	35.2	29.6	7.0	4.2
	40歳代(n=95)	2.1	31.6	0.0	43.2	18.9	1.1	1.1
	50歳代(n=86)	3.5	26.7	0.0	45.3	11.6	4.7	8.1
	60歳代(n=166)	8.4	9.0	0.0	17.5	18.1	41.0	3.0
	70歳以上 (n=393)	10.7	2.0	0.3	3.3	6.9	71.5	1.0

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計(性別・年齢別など)において最も高い割合を示している。

(例：性別の場合、男性と女性を比べて高い方に、年齢別の場合、最も割合が高い年齢層に網掛け。)

但し、回答率が10%未満の項目、n数が10未満の項目については、網掛けは省略している。

また、「無回答」は標記から省略している。(本報告書においては、以下同様)

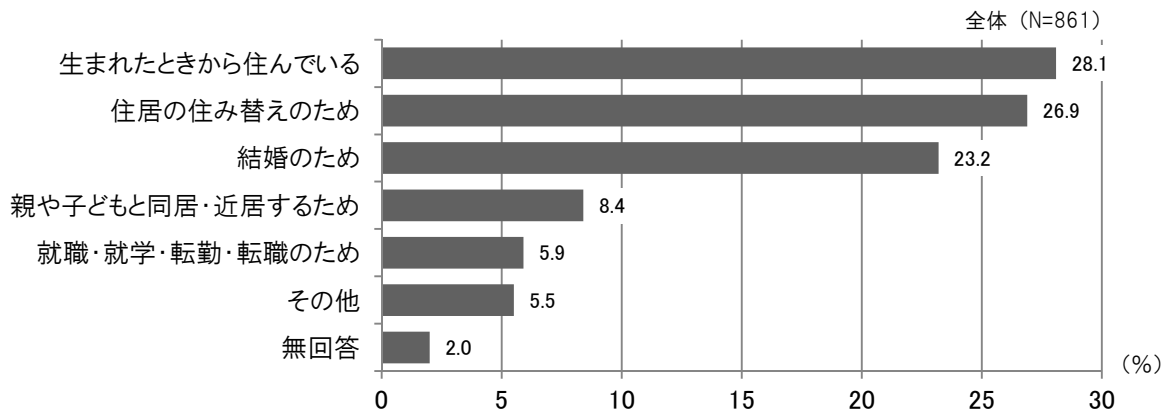
5. 現住所への居住のきっかけ

現住所への居住のきっかけについては、全体では「生まれたときから住んでいる」が28.1%と最も多く、次いで「住居の住み替えのため」(26.9%)、「結婚のため」(23.2%)となっている。

性別では、男性は「生まれたときから住んでいる」が最も多く、女性は「結婚のため」が最も多くなっている。

年齢別でみると29歳以下では「生まれたときから住んでいる」が過半数を占めており、年齢が上がるほど「住居の住み替えのため」が多くなっている。

地域別にみると、牛窓地域と邑久地域は全体と同じような傾向にあるが、長船地域では「住居の住み替えのため」が最も多くなっている。



単位 (%)		生まれたときから住んでいる	住居の住み替えのため	結婚のため	親や子どもと同居・近居するため	就職・就学・転勤・転職のため	その他
全体 (N=861)		28.1	26.9	23.2	8.4	5.9	5.5
性別	男性(n=365)	43.6	26.8	11.5	7.1	5.8	4.7
	女性(n=474)	15.8	27.6	33.1	9.7	5.5	5.9
年齢別	29歳以下 (n=33)	51.5	15.2	15.2	9.1	9.1	0.0
	30歳代(n=71)	28.2	23.9	25.4	12.7	8.5	1.4
	40歳代(n=95)	27.4	29.5	20.0	15.8	2.1	5.3
	50歳代(n=86)	33.7	32.6	9.3	10.5	8.1	4.7
	60歳代(n=166)	22.3	34.9	15.1	8.4	9.0	7.2
	70歳以上 (n=393)	28.0	23.2	31.3	5.6	4.3	6.1
地域別	牛窓地域 (n=167)	33.5	22.2	22.2	4.8	3.6	3.0
	邑久地域 (n=422)	31.3	25.4	23.5	8.5	6.2	3.8
	長船地域 (n=260)	20.8	32.3	24.2	10.4	7.3	4.2

6. 家族構成

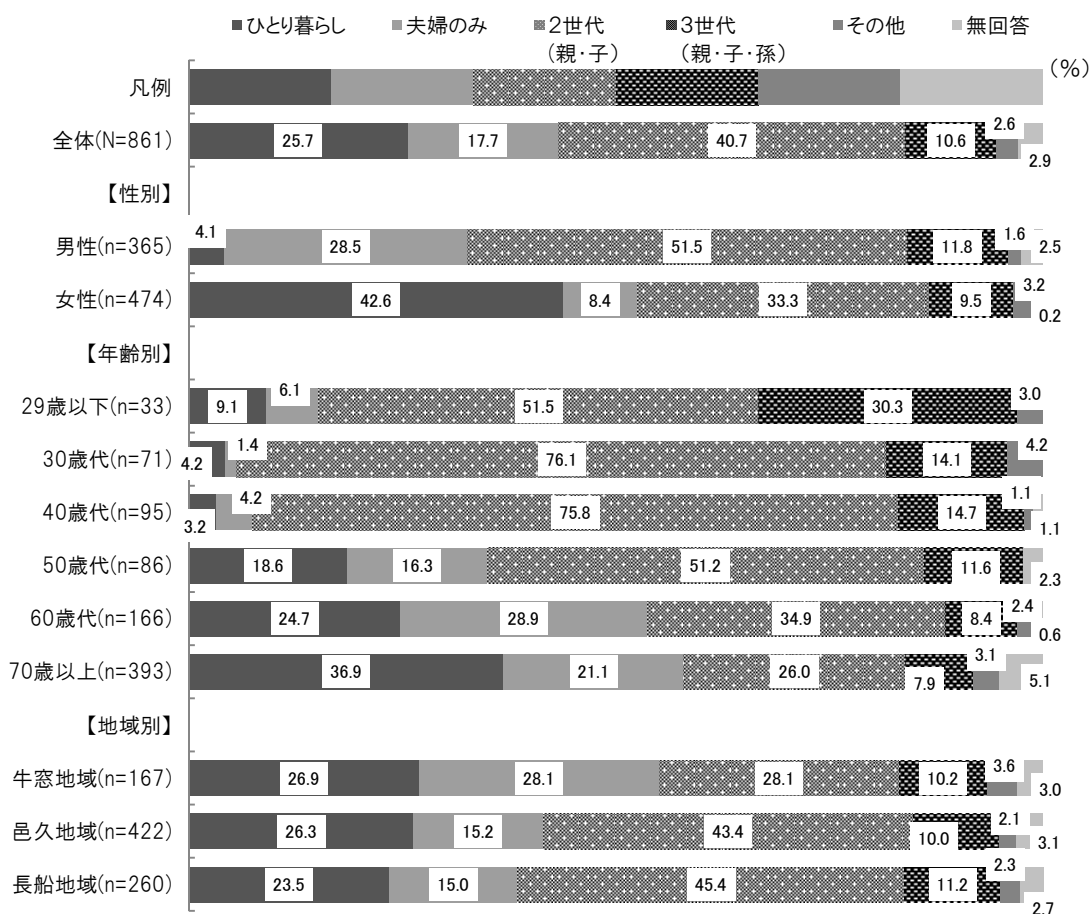
(1) 家族構成

家族構成については、全体では「2世代（親・子）」が40.7%と最も多く、次いで「ひとり暮らし」（25.7%）が続いている。

性別では、男性は「2世代（親・子）」が最も多く、女性は「ひとり暮らし」が最も多くなっている。

年齢別では、29歳以下で「3世代（親・子・孫）」が最も多く、若い世代の方が「2世代（親・子）」が多い傾向がみられる。また、「ひとり暮らし」は70歳以上が最も多く、年齢が上がるにつれ多くなる傾向にある。

地域別では、牛窓地域において、他の地域に比べて「夫婦のみ」が多く、「2世代（親・子）」が少なくなっている。

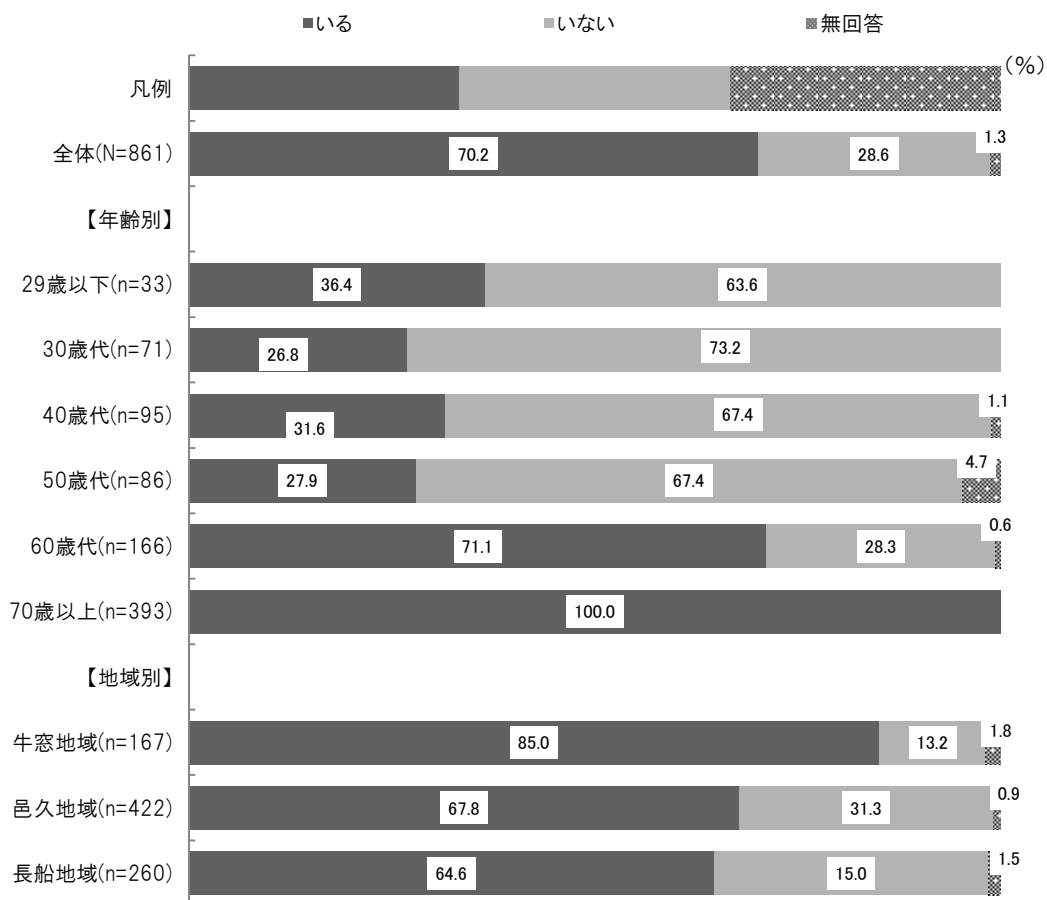


(2) 65歳以上の方の同居有無（自身を含む）

65歳以上の方の同居有無について、全体では「いる」が70.2%となっている。

年齢別では、自身を含むため、60歳代以上において「いる」が多くなっている。その他の年齢層では約2~3割の方が「いる」と回答している。

地域別では牛窓地域において「いる」が85.0%と他の地域と比べて多くなっている。

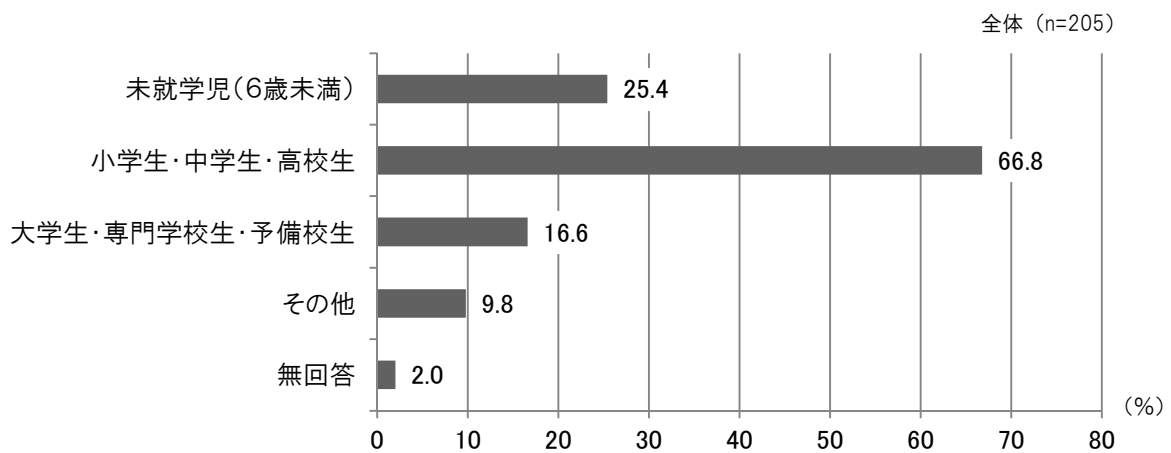
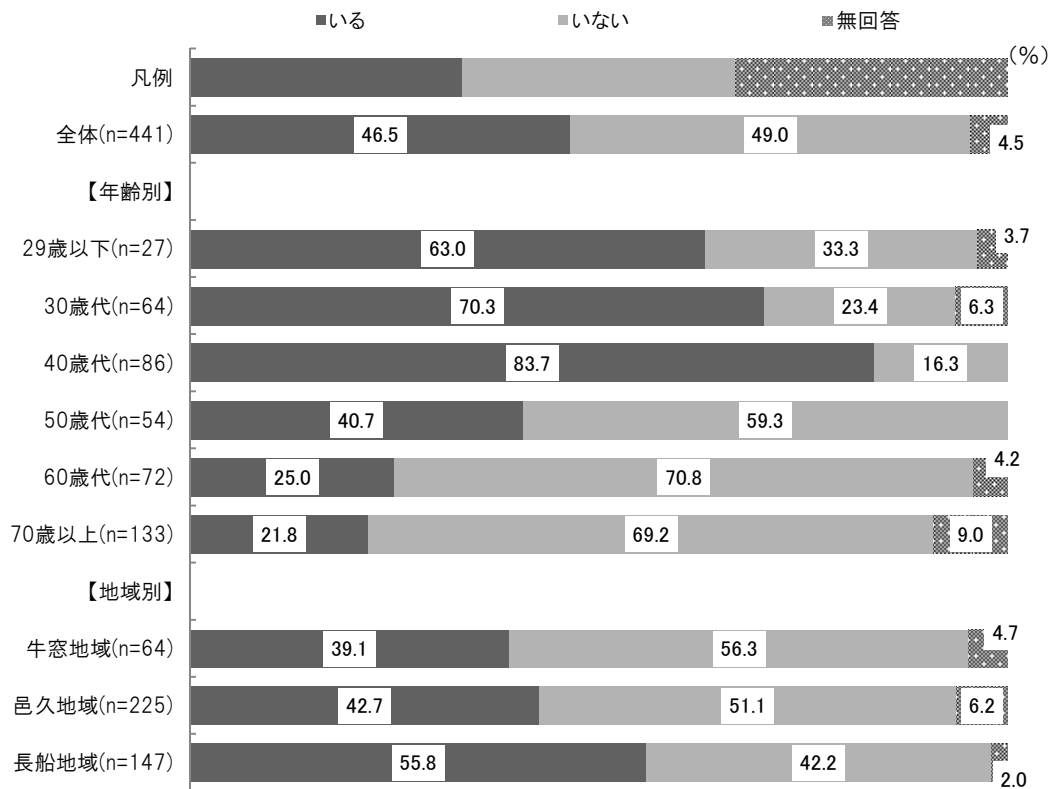


(3) 22歳以下の子どもの同居有無

22歳以下の子どもの同居有無については、「いない」が49.0%となっている。

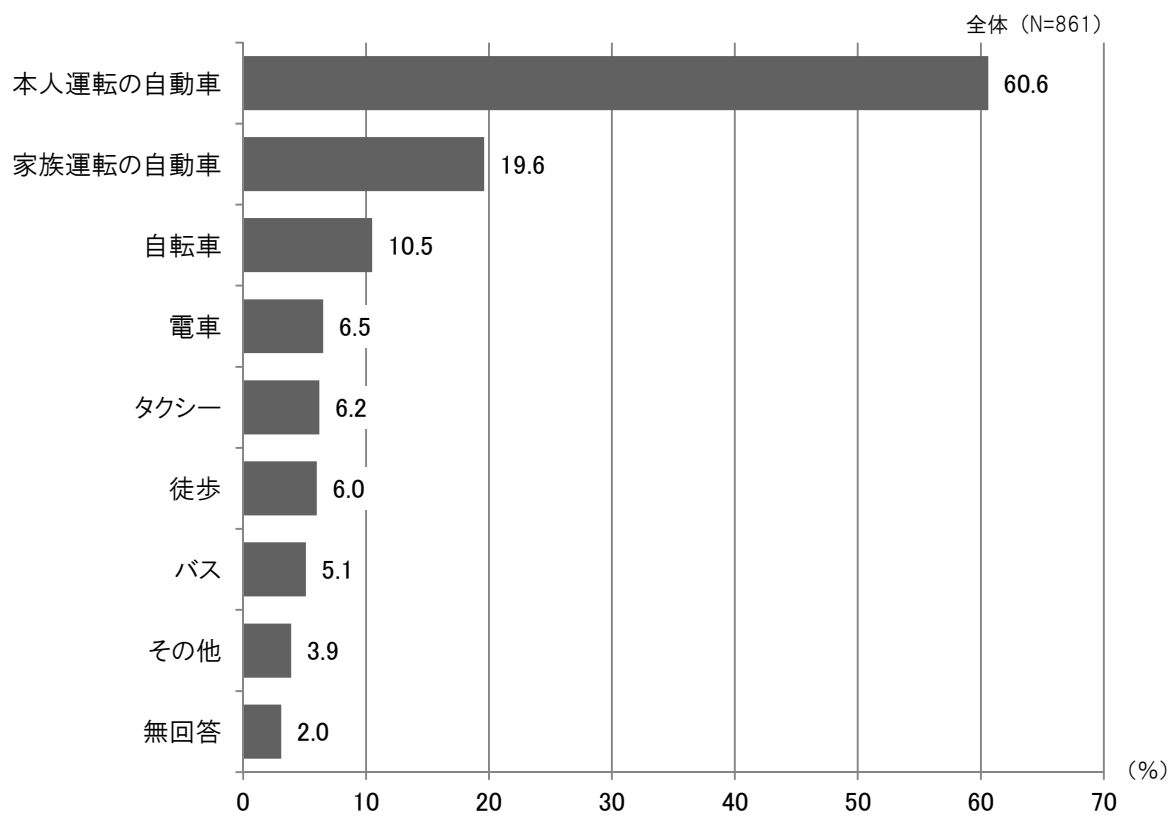
年齢別では40歳代以下の年齢層は「いる」が多くなっているが50歳代以上は年齢が高くなるにつれて「いない」が多くなっている。また、地域別でみると長船地域において、「いる」が多くなっている。

22歳以下の子どもは「小学生・中学生・高校生」が最も多くなっている。



7. 普段の主な交通手段

普段の主な交通手段については、全体では「本人運転の自動車」が60.6%と最も多く、突出している。次いで「家族運転の自動車」(19.6%)、「自転車」(10.5%)と続いている。



普段の主な交通手段について、性別で見ると、男性は「本人運転の自動車」が多くなっている。女性では男性に比べ「家族運転の自動車」が多くなっている。

年齢別で見ると、29歳以下では「電車」、70歳以上では「家族運転の自動車」「タクシー」が多くなっており、70歳以上では「本人運転の自動車」が少なくなっている。

地域別で見ると、笠加では「家族運転の自動車」が多くなっている。邑久、福田などの邑久地域では、「電車」が多くなっており、牛窓、鹿忍などの牛窓地域では「バス」が多くなっている。

単位 (%)		本人運転の 自動車	家族運転の 自動車	自転車	電車	タクシー	徒歩	バス	その他
全体 (N=861)		60.6	19.6	10.5	6.5	6.2	6.0	5.1	3.9
性別	男性(n=365)	77.5	14.0	7.7	5.8	2.5	3.0	2.5	1.4
	女性(n=474)	47.9	24.5	12.7	9.1	7.2	8.6	7.4	5.7
年齢別	29歳以下 (n=33)	75.8	21.2	12.1	21.2	0.0	6.1	3.0	0.0
	30歳代(n=71)	85.9	14.1	5.6	2.8	0.0	4.2	0.0	1.4
	40歳代(n=95)	89.5	10.5	8.4	5.3	0.0	3.2	0.0	2.1
	50歳代(n=86)	81.4	8.1	4.7	4.7	2.3	2.3	2.3	2.3
	60歳代(n=166)	77.1	13.3	9.0	4.8	1.8	3.6	5.4	1.8
	70歳以上 (n=393)	37.2	28.8	13.7	6.9	11.7	9.4	8.1	5.9
地域別	牛窓地域 (n=167)	54.5	22.2	13.8	2.4	6.0	7.8	14.4	3.0
	牛窓 (n=80)	47.5	26.3	15.0	3.8	7.5	12.5	16.3	1.3
	鹿忍 (n=63)	60.3	19.0	14.3	1.6	6.3	4.8	14.3	6.3
	長浜 (n=24)	62.5	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
	邑久地域 (n=422)	59.7	19.9	10.4	8.3	6.9	6.9	3.8	4.0
	邑久 (n=169)	61.5	17.2	13.0	13.0	5.9	8.3	4.1	4.1
	福田 (n=51)	49.0	29.4	17.6	9.8	7.8	9.8	2.0	3.9
	今城 (n=50)	68.0	12.0	4.0	8.0	10.0	4.0	4.0	6.0
	豊原 (n=37)	56.8	18.9	13.5	0.0	5.4	2.7	0.0	2.7
	本庄 (n=38)	63.2	15.8	5.3	2.6	15.8	7.9	2.6	7.9
	笠加 (n=16)	62.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	玉津 (n=19)	84.2	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	裳掛 (n=42)	42.9	28.6	9.5	7.1	4.8	9.5	11.9	2.4
	長船地域 (n=260)	66.9	18.8	8.5	6.2	3.8	3.5	1.5	3.5
	美和 (n=26)	80.8	11.5	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7
	国府 (n=83)	66.3	21.7	7.2	8.4	6.0	2.4	1.2	2.4
行幸 (n=151)	64.9	18.5	9.3	6.0	3.3	4.6	2.0	3.3	